

UltraLight-Scenario



# ダークキングダム

レッドエリアの奥地につくられた麻薬王国。  
そこではN◎VAとはちがう法と秩序が人々  
を支配していた。キャスト達はひとつのチ  
ームとなり、命がけの潜入をこころみる。

(作成日：2018.1.3)

## プレアクト情報

PRE-ACT INFO

### ■シナリオ基本情報

#### ▼作者

あるばがど (twitter : @Alba\_gard)

#### ▼プレイヤー人数

2～3人

#### ▼想定プレイ時間

2時間

#### ▼シナリオタグ

ストリート、ブラックハウンド、恐怖政治

### ● UL シナリオ

本シナリオは「UL (超軽量) シナリオ」だ。UL  
シナリオについての詳細は以下のサイトを参照のこ  
と。

[http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/  
UL\\_NOVA.html](http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html)

### ●シナリオレギュレーション

#### ▼使用経験点

0～50点程度

#### ▼達成値制限

制限なし。

ゲストデータの最大達成値は21である。

#### ▼RLが使用するルールブック

「TNX」

### ■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読  
み上げること。

#### 改訂情報

2018.01.6. 改訂

背徳の街に、秩序はない。  
あるのは力なき法と、混沌だけだ。

そんな世界に失望し、男は理想郷を夢見た。  
王国——それはレッドエリアの奥地に築かれた未登  
録市民による都市国家。  
そこでは恐怖支配による、絶対の秩序が実現してい  
た。

その頂点に立つのが、国王アレックスandro。  
黄金のバッチを捨てた男。  
力ある法を望んだ男。

かつての同僚を追い、猟犬達は玉座を目指す。

トーキョー-N◎VA THE ACCELERATION  
『ダークキングダム』

かくて、運命の扉は開かれた。

## ■キャスト作成

ブレアクトシート(アクトトレーラー、ハンドアウトなど)を参考にキャストを作成すること。

## ●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

- 『①イヌ』:正義の獵犬(『TNX』P84、『HDB』P161)
- 『②ニューロ』:ニューロキッズ(『TNX』P98、『HDB』P168)
- 『③カブト』:現代の騎士(『TNX』P90、『HDB』P164)

## ●コンストラクション

コンストラクションで作成する場合、以下の推奨スタイルで取得することを推奨する。

- 『①イヌ』:イヌ/ブラックハウンド
- 『②ニューロ』:ニューロ/『①イヌ』の協力者
- 『③カブト』:指定なし/『①イヌ』の護衛

## ●プレイヤー人数が2人の場合

プレイヤーが2人の場合は『③カブト』をぬくこと。

## ●必要な神業

ゲストが使用する即死系神業だけでキャストが死亡することを防ぐため、キャスト全員で2個以上(2人の場合は1個以上)の防衛系神業が必要だ。

また《<sup>デウス・エクスマキス</sup>電脳神》に使用方法が想定されている。

## ●主に使用する技能

〈社会:ストリート、警察〉

## ●N◎VA クルード

本シナリオは基本ルールに準じたルール処理と、N◎VA クルード(『CHM』P16)に準じたルール処理が併記されている。どちらかのルールを選び、その指示に従うこと。

## ■キャスト間コネクション

キャスト間のコネは以下のとおりに取得する。

『①イヌ』→『②ニューロ』→『③カブト』→『①イヌ』

# アクト-ハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

- 『①イヌ』:ブラックハウンド機動捜査課
- 『②ニューロ』:『①イヌ』の協力者
- 『③カブト』:『①イヌ』の護衛

## ①イヌ用ハンドアウト

Scenario Handout

コネ:アレックスandro

推奨スート:感情

キミはブラックハウンドだ。アレックスandroはかつてキミと同じ獵犬だった。だが法の無力に失望した彼は、バッチをはずし、去っていった。今のアレックスandroはストリートに流通するドラッグビジネスのクロマクだ。スラム街の一角に、みずからの王国を築き、君臨しているという。キミはかつての仲間を裁かなければならない。

[PS:アレックスandroを逮捕する]

## ②ニューロ用ハンドアウト

Scenario Handout

コネ:『①イヌ』

推奨スート:理性

キミはハッカーだ。今回の仕事はアレックスandroの支配地に潜入する『①イヌ』を支援すること。王国の守りは堅牢で、侵入者を許さず。だが電脳技術はあらゆる不可能を可能にする。キミの手引きがあれば、アレックスandroのもとにたどり着くことができるはずだ。

[PS:『①イヌ』の任務に協力する]

## ③カブト用ハンドアウト

Scenario Handout

コネ:ミス・ヴァイオレンス

推奨スート:外界

キミはボディガードだ。今回の仕事はアレックスandroの支配地に潜入する『①イヌ』達を護衛すること。アレックスandroは腕利きのマフィア達を従え、王国の人々を恐怖で支配している。中でも側近のミス・ヴァイオレンスはストリートでも悪名高い殺し屋だ。ヤツらの巢に飛び込み、生きて帰る……。ハードな仕事になるだろう。

[PS:仲間を守る]

# RL用テキスト

TXT 4 RULER

## ■ストーリー

ブラックハウンドだったアレックスandroは、N◎VAにおける法の無力に失望し、猟犬をやめた。完璧な秩序を夢見た彼は、ストリートに己の国をつくることを決意する。

アレックスandroはレッドエリアの一角を支配すると、未登録市民を暴力によって従え、ドラッグの生産をはじめた。

国王として君臨したアレックスandroは、厳格な王国法を制定し、絶対の秩序を築いた。法を破ったものは必ず発見され、処刑される。それはアレックスandroが夢見た、力ある法の実現だった。

しかしブラックハウンドはストリートに流通するドラッグの生産地である王国に、目をつけていた。機動捜査課のレイ課長は、キャスト達を呼び集め、アレックスandroの逮捕を依頼する。

キャスト達が王国に侵入し、アレックスandroを倒したならばシナリオは終了する。

## ■クライマックスの条件

キャストが「収獲祭のアドレス」に向かい、侵入のために神業を使用したなら、クライマックスになる。

# オープニングフェイズ

OPENING PHASE

## ●オープニング1:アレックスandro・イヤワン

シーンプレイヤー：「①イヌ」

登場：不可

### ◆解説

『①イヌ』のオープニング。かつてまだ同僚だったころのアレックスandroとの回想シーン。アレックスandroは無法との終わりのない戦いに失望し、ブラックハウンドをやめる。

### ▼描写

数年前、アレックスandroはキミと同じ猟犬だった。キミ達は犯罪組織の捜査を行っていたが、捕まえられるのは、末端の小悪党ばかり。犯罪は増えることこそあれ、減ることはなかった。

「もう、うんざりだ」

その日、アレックスandroはつぶやいた。

### ▼セリフ：アレックスandro

「俺はもううんざりだ。法なんてものに、なんの意味がある?」

「この街の秩序をつくっているのは行政府でも、セニットでも、ましてや俺達でもない。暗黒街に根をはるクロマクどもだ!俺達はやつらのおこぼれにあずかって、この街を守っているふりをしているだけだ」

「今日かざりて、俺は猟犬をやめる……。俺も秩序をつくる側になるんだ」

### ◆結末

そう言って、アレックスandroは猟犬のバッチを捨てた。それから数年後、ふたたびアレックスandroの名前を聞いた。ドラッグビジネスのクロマク……。それが今のアレックスandroだ。シーン終了。

## ●オープニング2:ミッション・インポッシブル

シーンプレイヤー：「③カブト」(\*1)

登場：不可

### ◆解説

『②ニューロ』『③カブト』のオープニング。『①イヌ』も自動登場となる。

キャスト達はブラックハウンド基地に呼び集められる。レイはキャスト達に、『①イヌ』と協力するように依頼する。

### ▼描写

キミ達はブラックハウンド基地に集められていた。レッドエリアに王国を築きあげたクロマク、アレックスandroを逮捕するというのだ。

機動捜査課を率いる“暴走課長”レイは、『①イヌ』を紹介した。やつが今回のチームのリーダーだという。

### ▼セリフ：レイ

「こいつが『①イヌ』。今回のミッションを担当する、腕利きの猟犬だ。どうかふたりでこいつを助けてやってほしい」

「知っているのとおり、今回の獲物はアレックスandro。今、ストリートに流通するドラッグを仕切るクロマクだ」

「こいつはレッドエリアの一角を支配下に置いて、未登録市民に麻薬をつくらせてる。そこは、アレックスandroの王国……なんて呼ばれてるらしい」

「王国産のドラッグによる汚染は深刻だ。オレの知り合いも何人も廃人になった。なんとしても叩きつぶさなきゃならない」

(『②ニューロ』に)「王国の守りは堅牢だ。今まで潜

(\*1) シーンプレイヤー：『③カブト』

『③カブト』がない場合は、『②ニューロ』をシーンプレイヤーとする。

入しようとした猟犬は、全員殉職した。だがおまえの  
 電脳技術があれば、うまいこと潜り込めるだろう」  
 (『③カプト』に)「やつらはストリートの荒くれ者をか  
 き集めて、未登録市民を弾圧してる。そいつらをたば  
 ねるのがミス・ヴァイオレンス……ストリートで最悪の  
 殺し屋だ」

「まず最初の難関は国境越えだな。そのあとは王国内  
 に案内役が手配してある。そいつと合流してくれ」

### ◆結末

レイは調査費および前金として全員に、ひとり1  
 ゴールド(5報酬点)を渡す(\*2)。『クロス・ザ  
 ライン』掲載の追加ルールを採用している場合、  
 [SPS:王国を滅ぼす(5経験点)]をキャスト全  
 員に渡す。

キャストが仕事にとりかかったところで、シーンを  
 終了する。

### (\*2)1 ゴールド(5報酬点) を渡す

これはブラックハウンドの通  
 常の仕事よりも大きな額だ。こ  
 れはそれだけの任務が困難  
 で、生還自体が難しいことを示  
 している。

## リサーチフェイズ

### RESEARCH PHASE

### ●イベント1: 国境線

条件: リサーチフェイズ最初のシーン  
 シーンプレイヤー: 『②ニューロ』

#### ◆解説

キャスト全員登場。王国の城壁を乗り越え、王国  
 内へと侵入するシーン(\*3)。

登場したキャストはいずれかのアクション技能(社  
 会技能は含まない)で、難易度14の判定を行う。

失敗したキャストは国境守備隊の攻撃によって社会  
 ダメージ[16:襲撃]を受ける。

なんらかの神業を使用した場合は、キャスト全員  
 が判定に成功したものとみなす。

#### ▼描写

レッドエリアのスラム街。その只中、数キロ四方  
 をその城壁はのみこんでいる。ここから先はN◎  
 VAであって、N◎VAではない。まったく異なる  
 秩序が支配する世界だ。多くの猟犬がここを越え  
 ようとして、散っていった……。

さてどうするか。

#### ▼セリフ: 国境守備隊

「侵入者だ、撃て!」

#### ◆結末

キャスト全員が判定を終えたなら、シーンを終了  
 する。

### ●イベント2: 闇の奥

ハート・オン・ダークネス

条件: 「イベント1: 国境線」の直後  
 シーンプレイヤー: 『③カプト』(\*4)

#### ◆解説

キャスト全員登場。王国に足を踏み入れたキャスト  
 達は、そこで恐怖政治の実態を目撃する。

キャストがミス・ヴァイオレンスに話しかけた場合、  
 ミス・ヴァイオレンスは騎士達に命令し、キャストを  
 捕まえようとする。騎士団はエキストラのため、宣言  
 だけで逃亡は可能だ(\*5)。

キャストがミス・ヴァイオレンスに即死系神業など  
 を使用した場合、ミス・ヴァイオレンスは神業で対応  
 する(\*6)。

#### ▼描写

キミ達は国境を乗り越え、アレクサンドロの王国  
 に、足を踏み入れた。

どこまでも広がる、薄汚れたスラム街。その一  
 角に、群衆が集まっている。彼らの視線の先では、  
 いくつもの亡骸が縄で吊るされている。その中のひ  
 とりが、キミ達が合流するはずだった案内役だ。

その下で、カテナ達を従えたスキンヘッドの美女  
 が声を張りあげた。

#### ▼セリフ: ミス・ヴァイオレンス

「よく見ておけ。これがアレクサンドロ陛下にたてつい  
 た不穏分子の末路だ」

「不穏分子を出した地区は、今月の生産ノルマを二倍  
 にする。だが分子を当局に密告してきた地区は免除し  
 よう。陛下の寛大に感謝するといい」

「王国の礎たる民をこのような形で失い、陛下は大変  
 悲しんでおられる。人口増加のノルマをさらに上乗せ  
 する。失った人口は、子を産んでとりもどせ」  
 (キャストが話しかけた)「貴様たち、王国の民ではな  
 いな。連行する!」

#### ▼セリフ: 国民

「なんてバカなことを。陛下に逆らったらどうなるか、  
 わかっていたはずなのに……!」

#### ◆結末

ざわめく人々をのこしミス・ヴァイオレンスは去っ  
 ていく。あとには怯える人々だけが残された。

シーン終了。次のシーンから情報収集が行える。

### (\*3) N◎VAクルード: 王国 内へと侵入する

N◎VAクルードでは任意の  
 [スタイル判定]を行う。

失敗したキャストは肉体ダ  
 メージを受け、死亡する。この  
 結果を避けたいのなら、なんら  
 かの神業を使用する必要がある。

### (\*4) シーンプレイヤー: 『③カ プト』

『③カプト』がない場合は、  
 『①イス』をシーンプレイヤーと  
 する。

### (\*5) 宣言だけで逃亡は可能だ

逆らわないようであれば、そ  
 のまま監獄へと連行される。と  
 くにキャストの行動が制限され  
 ることはない。逃亡はいつでも  
 可能だ。

### (\*6) ミス・ヴァイオレンスは 神業で対応する

ミス・ヴァイオレンスはカッ  
 ト進行に入ることなく退場す  
 る。そのためプレイヤーが神業  
 によらない攻撃を宣言したとし  
 ても、カット進行でないことを  
 理由に却下してよい。神業の  
 応酬の結果、ミス・ヴァイオ  
 レンスが戦闘不能になった場合、  
 以降のアクトはミス・ヴァイオ  
 レンスがいなくても進行する。  
 クライマックスにミス・ヴァイ  
 オレンスは登場しない。

またプレイヤーが2人の場  
 合、ミス・ヴァイオレンスは神  
 業を使用しない(できない)。

### ●イベント3：王国法第十四条

条件：【アレクサンドロ】の情報をすべて入手した  
ルーラーシーン

登場判定：不可

#### ◆解説

アレクサンドロをえがくルーラーシーン。

アレクサンドロは《制裁》<sup>パニッシュ</sup>を使用し、『①イヌ』に社会ダメージ [21 : guilty- 有罪] を与える。この社会ダメージは王国法に基づくものであり、王国内でのみ適用される。これはアクトルールである。

#### ▼描写

アレクサンドロの宮殿——。

しゃれこうべで飾り立てた玉座で、ひとりの男が頬杖をついていた。人々は彼をこう呼ぶ。“国王”アレクサンドロと……。

その御前でミス・ヴァイオレンスは膝をつき、頭を垂れていた。

#### ▼セリフ：ミス・ヴァイオレンス

「不穏分子をとり調べたところ、ブラックハウンドが国境を超え、侵入してきたことがわかりました。国境守備隊からも報告があがっています」

#### ▼セリフ：アレクサンドロ

「ほう……猟犬か。生きて国境を越えたものはじめてだな。どうやら今のブラックハウンドにも、すこしは骨のあるやつが残っていたらしい」

「諸君。王国法第十四条を思い出せ。秩序を乱すものはどうする?」

#### ▼セリフ：兵士

「殺せ! 殺せ! 殺せ!」

#### ◆結末

アレクサンドロは満足げにうなづく。

「ならばそのとおりにせよ」

アレクサンドロは《制裁》<sup>パニッシュ</sup>を使用する。

シーンを終了する。

### ●イベント4：民の涙

条件：【イベント3：王国法第十四条】の直後

シーンプレイヤー：【①イヌ】

#### ◆解説

アレクサンドロの命令をうけた国民達が、無実の民を殺そうとするシーン。彼らはエキストラであり、宣言のみで倒すことができる。キャストが助けに入らなかった場合には、そのまま殺される。アレクサンドロの非道さを強調し、結末に移ること。

#### ▼描写

王国を暴力が包みこんでいた。アレクサンドロに従う国民達は、血眼になって猟犬をさがしている。彼らは武器をもって人々の家におしり、蛮行をくりひろげていた。

「おまえは陛下に対して反逆的な言動をしていたな。おまえも猟犬の手先か!」

「ち、違います。この子だけは、この子だけはどうか許してください!」

子供を抱きしめて、泣き叫ぶ母親。

男はその背中にナイフを振り上げた——!

#### ▼セリフ：武器をもった国民

(キャストが止めにはいった)「あらわれたか猟犬め!

王国の法と秩序をおびやかす者に死を!」

「この国にはこの国の法がある。それに従ってれば、陛下はご褒美をくださるんだ。そののなにか悪い!？」

#### ▼セリフ：母親

(キャストが助けた)「あ、ありがとうございます!」

「最初にアレクサンドロが現れたときには、これで仕事に困らないってみんな喜びました。でも彼は私達のことを、麻薬を生み出す道具としか思っていなかったんです」

「すこしでも逆らう者はみんな処刑されました。この子の父親も、そのときに……。あとに残されたのは、ドラッグにおぼれ、アレクサンドロにこびへつらう者ばかり」

「ブラックハウンド様。どうか、どうか私達をお救いください……!」

#### ◆結末

アレクサンドロを倒さないかぎり、この悲劇は終わらない。シーンを終了する。

## ■情報項目

ハート・オン・ダークネス

「イベント2: 闇の奥」終了後に情報収集を行う。  
調べることができる情報項目は以下のとおり。

キャスト全員: [王国] [ミス・ヴァイオレンス] [アレクサンドロ]

なお情報項目名の頭にある記号は、N◎VA クルードにおいて、その情報を「能力判定」で調べる場合に使用するスーツを表している。

各情報の頭の数字は通常の判定での目標値、()の中の文字はN◎VA クルードでの目標となる判定結果序列だ。

(成: 通常の成功 / 劇: 劇的な成功 / A: 決定的成功)

### ◆<sup>キングダム</sup>王国

〈社会: ストリート、警察〉

- 10 (成) レッドエリアの奥深くにある、アレクサンドロの支配地域。独自の法を制定し、圧政を敷いている。
- 12 (成) ストリートに蔓延するドラッグの生産拠点。住民達は過酷な労働に従事させられている。
- 14 (成) 厳格な王国法が敷かれており、王国に刃向かうものは処刑される。その一方、法を守るものには食料とドラッグ(\*7)が分け与えられる。そのため住人達はアレクサンドロをおそれ、服従している。

### ♥ミス・ヴァイオレンス

〈社会: ストリート、警察〉〈コネ: ミス・ヴァイオレンス〉

- 8 (成) 王国の騎士団長(カゲ◎)。スキンヘッドの美女。ドラッグの生産管理を行っており、逆らうものを容赦なく処刑する。
- 12 (成) アレクサンドロに心酔し、身も心も捧げている。カブトとして彼を守っている。彼に仇なすものを絶対に許しはしない。

### ♣アレクサンドロ

〈社会: ストリート、警察〉〈コネ: アレクサンドロ〉

- 8 (成) 王国に君臨するクロマク。王を名乗っている。
- 10 (成) カーライルに所属するアンダーポスのひとり。ストリートの争いからは距離を置き、領土の統治に専念している。ドラッグビジネスの利潤が莫大であるため、もはや<sup>コミッション</sup>委員会ですえ手を出せない。
- 12 (成) 元ブラックハウンド。隊内の剣術大会で優勝経験もある剣豪。無力な法制度に失望し、みづからが法となり、秩序を築くことを決意した。
- 16 (劇) 厳重な警備の宮殿におり、めったに姿を見せない(\*8)。しかし月に一度の【収穫祭】の際には、民の前に現れる。

### ♠収穫祭

〈社会: ストリート、警察〉

- 8 (成) 月に一度行われる、王国の収穫を祝う祭事。すべての国民があつめられる。
- 12 (成) 廃墟となったスタジアムで行われるが、その出入りは王国が発行する国民IDによって厳重に管理されている。
- 18 (劇) 【収穫祭のアドレス】を入手する。しかし侵入のためには《<sup>デウス・エクス・マキナ</sup>脳神》などの神業が必要だ(\*9)。

#### (\*7) 食料とドラッグ

最低限の食と娯楽を保証することで、アレクサンドロは住人達を支配している。俗に言うパンとサーカスだ。

そのためアレクサンドロを積極的に支持する者もいる。もっともそうした者たちは皆、重篤なドラッグ中毒を患っている。

#### (\*8) 姿を見せない

アレクサンドロのアドレスは、ミス・ヴァイオレンスの《不可触》で隠されている。ただしプレイヤーが2人の場合、ミス・ヴァイオレンスは神業を使用しない(できない)。

#### (\*9) 《脳神》などの神業が必要だ

神業をもちいるためのシーンをもうけるとよいだろう。神業をもちいるとクライマックスに移る条件がととのう。

また時間に余裕があるならば、RLはクライマックス前にやりたいシーンがないかプレイヤーに確認をとり、適宜シーンをもうけるとよい。

キャストがアレクサンドロ打倒へのモチベーションをじゅうぶんに高めたなら、クライマックスをはじめよう。

# クライマックスフェイズ

## CLIMAX PHASE

### ●クライマックス 1: アポカリプス・ナウ

#### ◆解説

キャスト達はアレクサンドロと対決する。

#### ◆カット進行

カット進行が発生する (\*10)。敵は以下のとおり。

- ・アレクサンドロ CS:10
- ・ミス・ヴァイオレンス CS:8
- ・騎士団(カタナ・トループ) × 1 CS:6  
トループの人数は10人とする。

キャスト達を1エンゲージとする。敵はすべて近距離に配置する。アレクサンドロを1エンゲージ。ミス・ヴァイオレンス(\*11)、騎士団(カタナ・トループ)はまとめて1エンゲージとする。

#### ▼描写

かがり火がたかれたスタジアムに、ボロをまとった人々が集まっていた。

「偉大なるアレクサンドロ陛下を讃えよ!」

ミス・ヴァイオレンスの声とともに、群衆はいっせいに頭を垂れる。彼らひとりひとりの手に、騎士団がドラッグを手渡していく。これが今月の勤労の対価なのだ。

その様子を、傲然と見下ろすひとりの男。

“国王”アレクサンドロ……。

#### ▼セリフ: ミス・ヴァイオレンス

「おまえ達、王国の民ではないな!」

「猟犬め。よもや陛下の御前にまで入り込むとは!」

#### ▼セリフ: アレクサンドロ

「やはり『①イヌ』か……ひさしいな。俺の前に生きて姿をあらわすとすれば、それはおまえであると思っていたぞ」

「どうだ、俺の王国は? ここには完璧な法が行き届いている。それを破るものには、絶対の罰がくだされる。例外はない……ここには厳然たる秩序がある」

「俺がこの地に来るまで、ここには混沌だけがあった。行政府もメガコーポも、金にもならないスラムなど見向きもしない。だから俺はここに己の国を築いた……」

「そして見よ! 今や俺は王だ。誰もが恐怖して、頭を垂れる。誰もが畏敬をもって、俺を呼ぶ。ここでは俺が法だ!」

「『①イヌ』、おまえは我が友だ。だが、我が王国法に例外はない。さあ、死ぬがいい……!」

(倒れた)「俺がいなくなっても、こいつらは救われまい。おまえの戦いは、終わらないぞ……」

#### ◆結末

カット進行が終了したなら、シーンを終了する。

#### (\*10)N◎VAクルード: カット進行

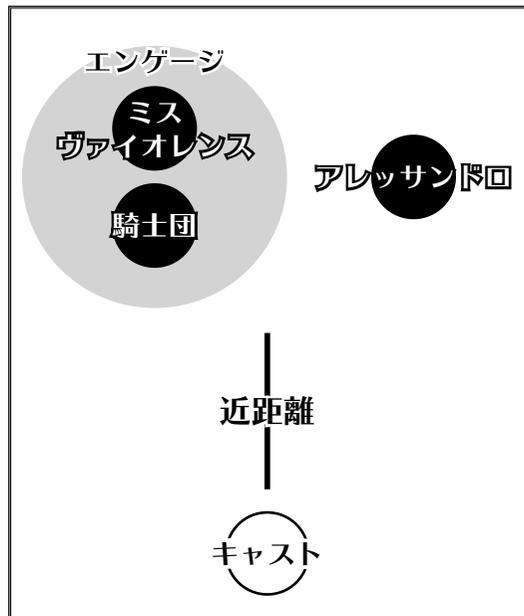
ゲストの行動順は以下のようになる。

- ・ミス・ヴァイオレンス: 1 番目
- ・アレクサンドロ: 最後

N◎VAクルードではトループは登場しない。

#### (\*11)ミス・ヴァイオレンス

プレイヤーが2人の場合はゲストではなく、王国騎士団のトループの1人としてあつた。当然、神業も使用しない。



### アレッサンドロ

カタナ、クロマク◎、イヌ●

#### ▼設定

「我が王国法に例外はない。さあ、死ぬがいい……！」

王国を支配するクロマク。カーライルのアンダーボスであり、未登録市民を支配して、ドラッグビジネスを行っている。厳然たる秩序に執着をもち、みずからがさだめた法の実行のためには手段を選ばない。かつては本心から人々の平和を望んでいたのだろうが、今や権力にとりつかれている。

#### ▼神業

死の舞踏□ 腹心□ 制裁■

#### ▼能力値/制御値

♠理性：8 / 12 ♣感情：6 / 13  
♥生命：6 / 13 ♦外界：8 / 11

#### ▼戦闘データ

[CS] 10 [AR] 1  
[防御力] S:1 / P:1 / I:2

#### ▼一般技能

3 ♠♣♥♦ ★白兵

#### ▼スタイル技能

2 ♠♣♥♦ 居合い (TNX204)  
3 ♠♣♥♦ カマイタチ (TNX204)  
5 ♠♣♥♦ 無風剣 (TNX204)  
3 ♠♣♥♦ ※強行突破 (TNX223)

#### ▼アウトフィット

・降魔刀 .....電：- / 隠：5 (TNX232)  
攻：P+4 受：2 射程：至近  
・スキンメイル .....電：15 / 隠：16 (TNX239)  
防 (S/P/I)：1 / 1 / 2  
・銅猿 .....電：15 / 隠：12 (TNX239)  
白兵攻撃で与える肉体ダメージに+2する。

#### ▼戦闘プラン

カット最初のイノシアチブプロセスで〈白兵〉〈カマイタチ〉〈無風剣〉〈強行突破〉を組み合わせ。中距離までの対象に物理攻撃を行う。判定値は+2で、ダメージは [S+14]。[AR] を消費する。

#### ▼N◎VA クルード：スタイル判定

**[理性]** カタナ：白兵攻撃  
日本刀の一撃で、すみやかにキャストの命を奪う。  
**[感情]** クロマク：精神攻撃  
堂々たる演説で、キャストの心を振意させる。  
**[生命]** イヌ：社会攻撃  
国民たちがキャストをとりおさえようとする。

### ミス・ヴァイオレンス

カプト●、カゲ◎、レッガー

#### ▼設定

「これがアレッサンドロ様になてついた不埒分子の末路だ」

アレッサンドロの側近にして愛人。スキンヘッドの美女。かつては誰にも御すことのできない、最悪の殺し屋としておそれられていた。しかしアレッサンドロに出会い、はじめて他人に服従を誓った。

#### ▼神業

難攻不落□ 不可知□ 不可触■

#### ▼能力値/制御値

♠理性：7 / 12 ♣感情：3 / 13  
♥生命：7 / 13 ♦外界：4 / 10

#### ▼戦闘データ

[CS] 8 [AR] 1  
[防御力] S:1 / P:1 / I:2

#### ▼一般技能

3 ♠♣♥♦ ★白兵

#### ▼スタイル技能

3 ♠♣♥♦ 死点撃ち (TNX204)  
3 ♠♣♥♦ イカサマ (TNX212)  
3 ♠♣♥♦ 追いつ打ち (TNX213)

#### ▼アウトフィット

・ナール .....電：18 / 隠：5 (TNX234)  
攻：P+6 受：3 射程：至近  
・スキンメイル .....電：15 / 隠：16 (TNX239)  
防 (S/P/I)：1 / 1 / 2  
・閃鋼 .....電：16 / 隠：16 (TNX239)  
セットアッププロセスに使用。シーン中、[CS] +6する。  
・銅猿 .....電：15 / 隠：12 (TNX239)  
白兵攻撃で与える肉体ダメージに+2する。

#### ▼戦闘プラン

セットアッププロセスで閃鋼を使用。自身の [CS] をシーン終了まで+6する。  
ムーブアクションでキャストのエンゲージに移動。メジャーアクションでは〈白兵〉〈死点撃ち〉〈追いつ打ち〉を組み合わせ、至近距離の対象に物理攻撃を行う。判定値は+2でダメージは [X+8]。対象が社会ダメージを受けている場合はさらに+ [差分値ダメージ] する。

#### ▼N◎VA クルード：スタイル判定

**[理性]** カプト：白兵攻撃  
鋼鉄の爪で、キャストの攻撃をはじきかえし、カウンターを叩き込む。  
**[感情]** カゲ：白兵攻撃  
鋼鉄の爪で、キャストを切り裂く。  
**[生命]** レッガー：社会攻撃  
王国騎士団を指揮して、キャストを取り囲む。

### 王国騎士団

カタナ・トループ (6レベル)

#### ▼設定

ミス・ヴァイオレンスに幸いられた荒くれ者たち。アレッサンドロに服従し、国民を力で支配している。

#### ▼能力値/制御値

♠理性：8 / 10 ♣感情：6 / 10  
♥生命：9 / 11 ♦外界：8 / 9

#### ▼戦闘データ

[CS] 6 [AR] 1  
[防御力] S:1 / P:1 / I:2

#### ▼一般技能

2 ♠♣♥♦ ★回避  
3 ♠♣♥♦ ★白兵

#### ▼スタイル技能

2 ♠♣♥♦ 鬼の爪 (TNX204)

#### ▼アウトフィット

・シャドウソード .....電：15 / 隠：14 (TNX234)  
攻：S+7 受：- 射程：至近 オートアクションで準備可能。  
・アーマージャケット .....電：12 / 隠：12 (TNX238)  
防 (S/P/I)：1 / 1 / 2  
・銅猿 .....電：15 / 隠：12 (TNX239)  
白兵攻撃で与える肉体ダメージに+2する。

#### ▼戦闘プラン

ムーブアクションでキャストと同じエンゲージに移動する。  
メジャーアクションに〈白兵〉〈鬼の爪〉で至近距離の対象に白兵攻撃。ダメージは [S+9]。[ダメージ軽減技能] で軽減できない。

# エンディングフェイズ

ENDING PHASE

次に提示するのはエンディングの一案である。プレイヤーからの要望に合わせて、自由に変更して構わない。

## ●エンディング1：王位篡奪

シーンプレイヤー：「①イヌ」

### ◆解説

キャスト共通のエンディング。全員登場。クライマックスの直後のシーンとなる。

国王は倒されたが、ドラッグと食料によって飼い慣らされた人々は、そう簡単に自由な暮らしにもどることはできない(\*12)。

彼らはキャストを、新たな国王なのだと考える。

### ◆描写

キミ達がアレックスandroを打ち倒すと、スタジアムは静まりかえる。そして、ぼつりぼつりと声があるりはじめた。

### ▼セリフ：国民

「王が倒された……王が倒された。彼らが新しい王だ!」

「この王国はすべてあなた様のものです。新たな国王よ、どうか我々にご命令を……!」

### ◆結末

キャスト達は人々になんと答えるだろうか。

答えたところで、シーンを終了する。

## ■ポストアクト

各々のエンディングを演出したならば、経験点の計算等、ポストアクトの準備に入る。

SPS：「王国を滅ぼす」を達成していれば、経験点5点となる。

ポストアクト後、シナリオは終了となる。

### (\*12) 自由な暮らしにもどることはできない

アレックスandroが言っていたとおり、王国が築かれる前、この地に暮らす人々は最低限の生活すらままならなかった。王国がなくなっても、彼らに生きていく術はない。

RLが望むなら、このことを、民衆の口を借りて、プレイヤーに問うてもよい。アクトにピタリな余韻を残すことになるだろう。これはキャストが残った神業を上手に使うチャンスでもある。



## シナリオ運用の指針

### ●シナリオのコンセプト

『ダーク・キングダム』はスラム街につくられた悪の王国をめぐるシナリオだ。その裏側には、NOVAの法に失望し、独自の秩序を打ち立てんとするゲストの歪んだ理想がある。キャストは王国に挑み、これを打ち倒さなければならない。

### ●プレイヤー2人用のバランス調整

このシナリオはプレイヤー2人でプレイすることが可能である。その場合は以下のバランス調整を推奨する。

### ▼クライマックス1：ダーク・キングダム

・ミス・ヴァイオレンスはゲストではなく、トループの1人としてあつかう。

## ■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

## ■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したりプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

## トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

# NeuroCrowD

---

### 投稿シナリオ No.016 『ダークキングダム』

作成日：2018.1.3

執筆（著作権者） あるばがらど  
イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会  
DTP まだら牛、あるばがらど  
素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple\_ox@gmail.com

サイトURL：http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/